

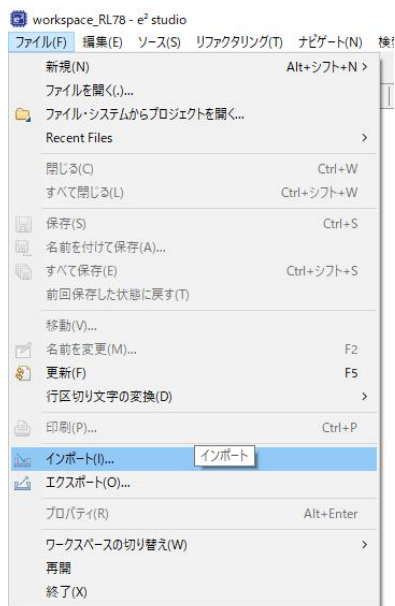
e2studio 環境で動作する RL78_G24_101GA ボード用サンプルプログラムの使い方

2025. 03. 04/03. 13

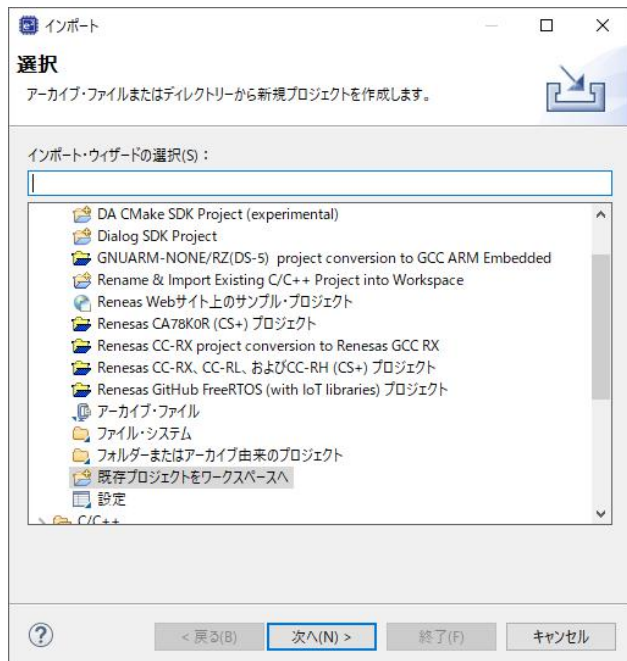
あらかじめパソコン (PC) と RL78_G24_101GA ボードをケーブルで接続しておいてください。
ケーブルは USB A⇄C タイプです。

e2studio を立ち上げ、ダウンロード、解凍したホルダを適当な所に配置します。

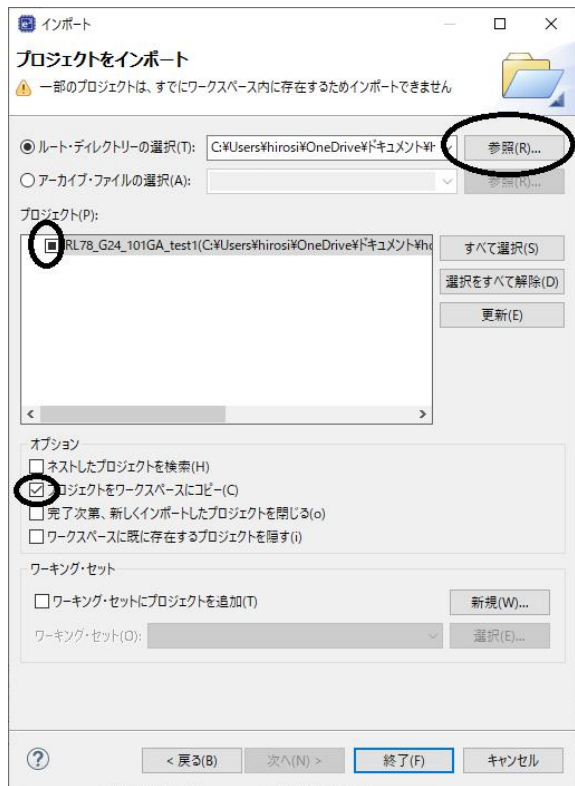
1 番はじめはプログラムをインポートします。



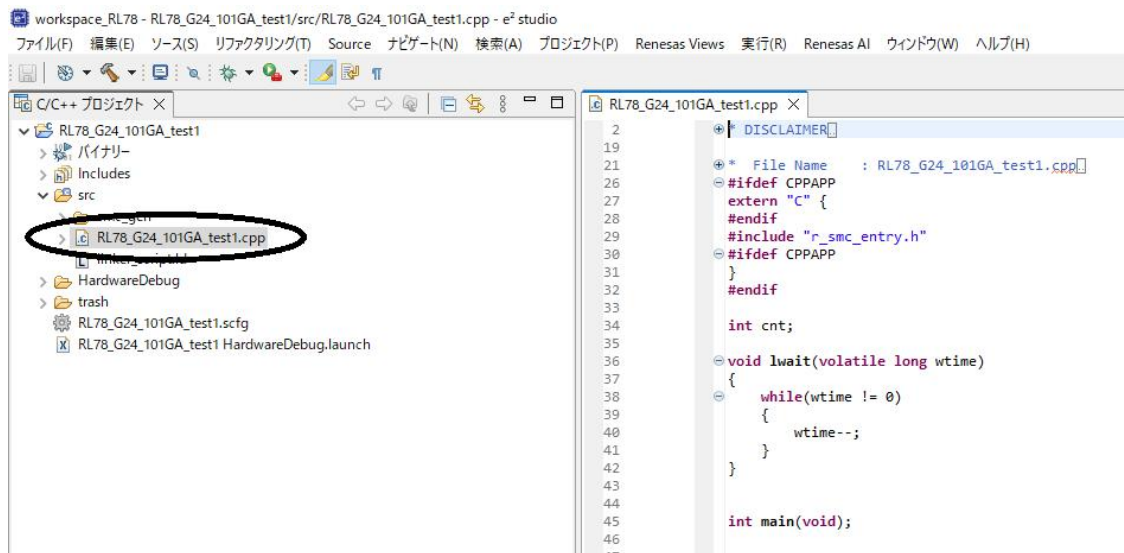
一般→既存プロジェクトをワークスペースへ



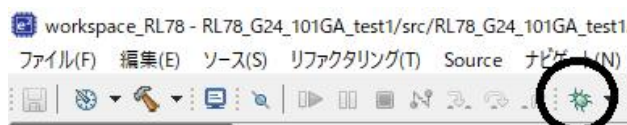
ルートディレクトリの選択で、ダウンロードしたファイルのディレクトリを指定。プロジェクト、プロジェクトをワークスペースにコピーをチェック。終了をクリック。



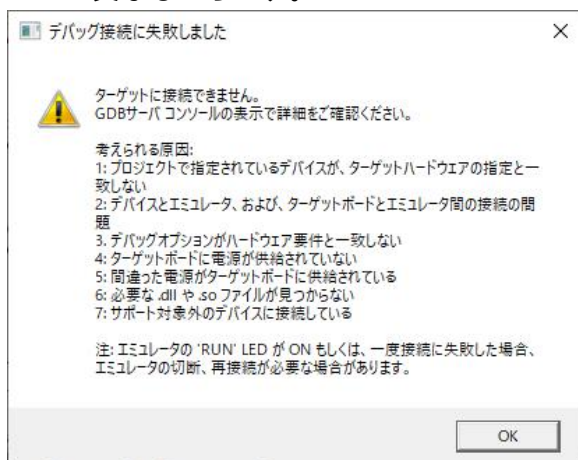
RL78_G24_101GA_test1 のプロジェクトが表示されます。ソースファイルは拡張子 .cpp です。クリックで右画面に表示されます。



デバックをクリック。



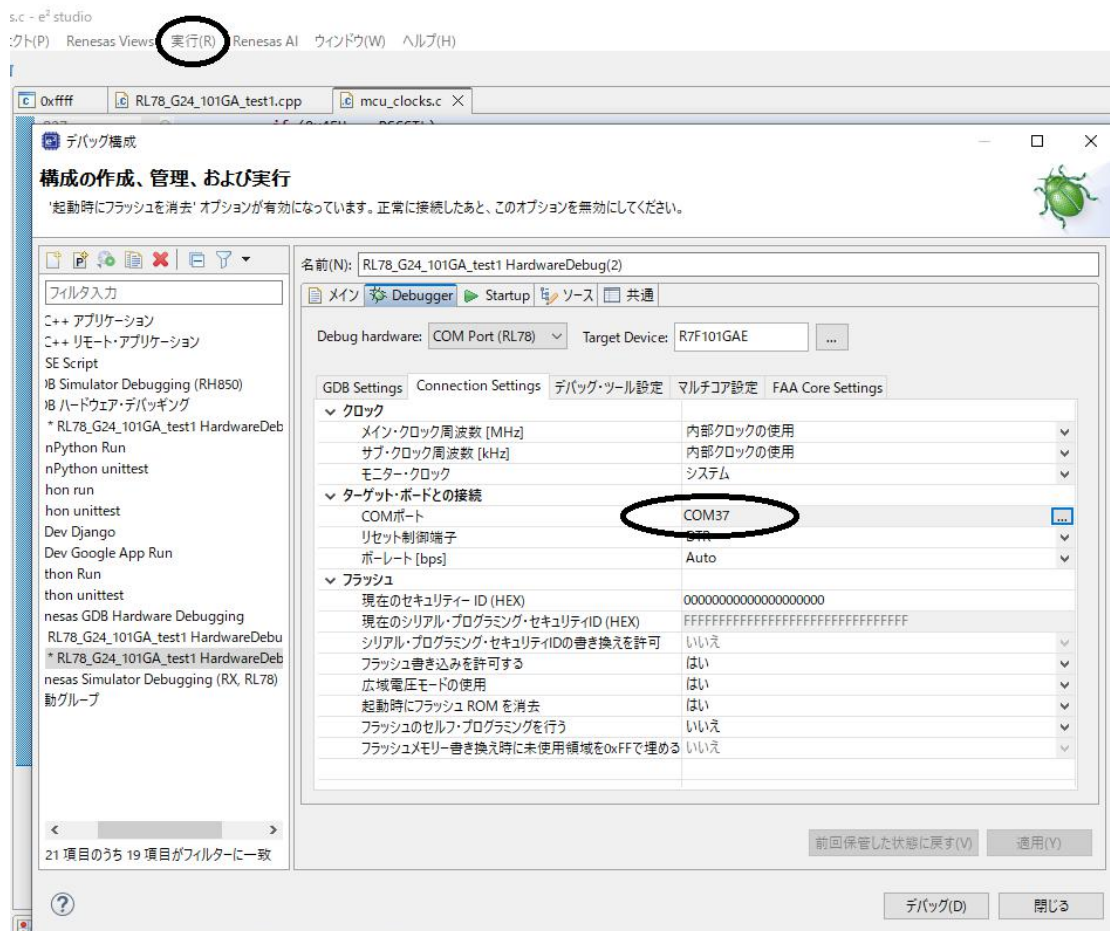
通常、1回目は接続できないと表示されます。これは製作者の COM ポートと利用者の COM ポートが異なるからです。



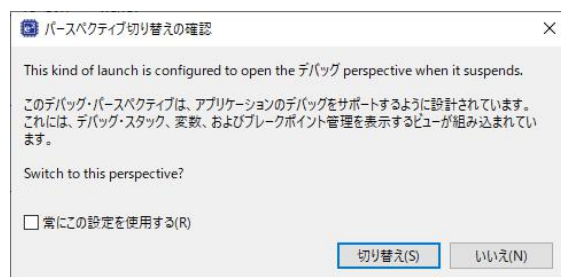
実行→デバックの構成



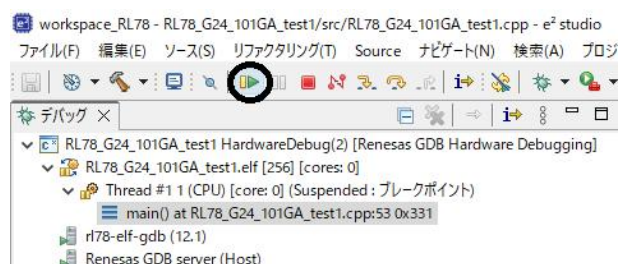
Debugger→ターゲット・ボードとの接続 で COM 番号を利用者のものに合わせて下さい。
OK であれば「適用」をクリック。



再度、デバックをクリック。以下、パースペクティブ切り替えの確認が出たら接続は成功
しています。「切り替え」をクリック。



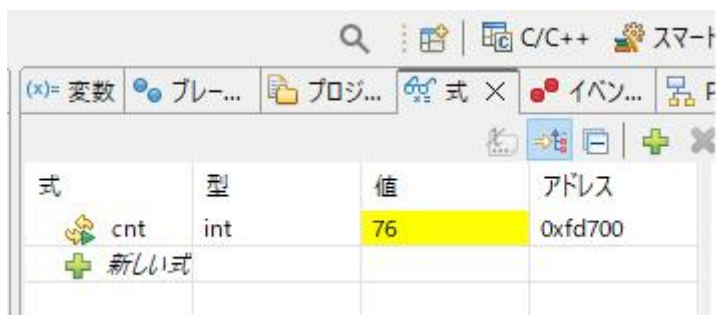
今まで見えなかったボタンが出てきます。実行をクリック。



1回目はカーソルがmain()の後で止まります。メインの前の初期化等は正常に実行されました。もう1回、実行をクリックするとwhile(1)の無限ループ動作に入り、LED D1が点滅すれば動作成功です。

```
51 int main(void)
52 {
53     EI();
54     cnt = 0;
55
56     while(1)
57     {
58         cnt++;
59         P3_bit.no0 = 1;
60         lwait(1000000);
61         P3_bit.no0 = 0;
62         lwait(1000000);
63         // TODO: add application code here
64     }
65     return 0;
66 }
67
```

LED D1の点滅が目で確認できると思います。変数窓の変数、cntがLEDが点滅するたびに+1されるのが確認できると思います。



The screenshot shows the 'Variable Watch' window in an IDE. The window title is '(x) 変数' and it contains a table with the following data:

式	型	値	アドレス
cnt	int	76	0xfd700
新しい式			

有限会社ビーリバーエレクトロニクス
info@beriver.co.jp